

株式会社野島鉄鋼店

お客様のどんな「要望」にも
全力でお応えします

九州内に5店舗を展開する当社は、鉄・非鉄・特殊鋼などさまざまな素材を取り揃えるまさに鉄鋼のデパート。さらに得意とするのが加工対応です。自社設備はもちろん加工ネットワークを駆使してご要望に素早く応えます！

【わが社のここがイチ押し！】

現場環境をより効率的に快適に
あらゆるニーズを実現する窓口

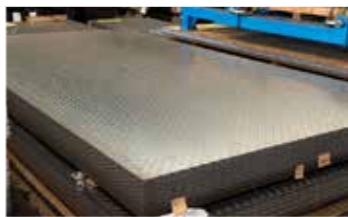
構造物は刻々と進化を遂げ、鋼材・建材のオーダーも多様化。同時に加工や発注、納入確認など現場責任者の手間も増大しています。そこで当社は、現場の負担を軽くするため多くの加工メーカーとの協力体制を確立。手配・加工・納入まで手厚いサポート体制を整えています。



▲鋼材：1本から多品種
大量発注まで対応可能



▲非鉄金属特殊鋼：汎用性の高いステンレス鋼、アルミ材からチタンや銅まで取り扱います



▲鋼板：定尺、シャーリング・レーザーなどの切断から複雑な曲げ加工まで、高精度で対応



▲土木建材：鉄筋ワイヤーメッシュをはじめ幅広く扱い、現場への直接搬送も行っています



▲造船プラント：ジンクコート材、ステンレス、鋼管など在庫多数。即納対応でサポート

加工を介在にお客様と
お客様をつなぎます



市内でいきいきと頑張る企業をご紹介！地元就職を考えている学生の皆さんも必見ですよ



▲在庫は数量・種類ともに豊富な品ぞろえ。突然のオーダーにもお応えできるよう常に準備万端です

【企業概要】

- 所在地 荒尾市水野 1092-12 (中九店)
- 業種 卸売・小売業
- 業種 鋼材と鋼製品の販売・加工・施工
- 資本金 8,000万円
- 売上高 132億9,133万
- 従業員数 24人 (中九店)
- ホームページ <http://www.nojima.jp>
- 連絡先 ☎ 69-4600 FAX 69-4577



鉄は日常になくはない存在
まずは何でもお気軽にご相談ください

昭和9年の創業以来、当社の原点は「鋼材販売」。昔も今もお客様の生活に沿った小さな注文を大切にしています。

【わが社のいきいき Boy】

4月に入社した22歳です。大学で鉄を研究していたこともあり、鉄鋼に興味がありません。野島鉄鋼店は鉄鋼業界の多種多様な方面に力を入れている魅力ある会社です。尊敬する先輩達にならって、お客様のご要望に100%お応えできるような営業マンになりたいです。



営業部 佐藤嘉将さん (22)



暑い季節がもうすぐそこ！ 熱中症にご注意ください

閩保健センター ☎ 63-1133

気温の上昇とともに、熱中症患者の増加が心配されます。熱中症による救急搬送者は年代別では65歳以上が5割近くを占めています。

暑い日は過度に節電を意識せず、熱中症に十分注意して過ごしてください。

熱中症の症状にはどんなものがあるの？

初期症状はめまい、筋肉痛、汗が止まらないなど。症状が進むと、頭痛、吐き気や倦怠感などを感ずります。意識が無い、体温が高い、まっすぐ歩けないなどの症状が出たときは緊急事態です。速やかに救急車を呼んでください。



「日差しが強く、暑い...」
こんな日は熱中症に注意しなさい

熱中症って何？

高温多湿な環境に、体がうまく適応できないことで生じるさまざまな症状の総称です。重症化すると死に至る場合もありますが、予防や対処で防ぐことができます。周囲の人と声を掛け合いながら、熱中症をみんなで防ぐことが大切です。

熱中症って何？

予防のポイントとは？

- ① のどが渇く前に小まめに水分を摂る。
- ② 小まめな換気や遮光カーテンなど、室温が上がりにくい環境を作る。
- ③ 室温をチェックして、扇風機やエアコンで温度・湿度を調節する。
- ④ 屋外では、日傘や帽子を使い、日陰を選ぶなど暑さを避ける。

特に注意が必要な人はいるの？

1. 子ども
 - 子どもの特徴
 - ① 地面の照り返しにより、大人が感じている暑さより、大人に暑さを感じています。
 - ② 体温調節機能が十分に発達していません。

この人熱中症かも...、そんなときどうする？

- ① 涼しい場所で休ませる。
- ② 体を冷やす。
- ③ 水分を補給させる。
- ④ 自力で水が飲めない、意識が無いときは、すぐに救急車を呼んでください。

2. 高齢者

● 高齢者の特徴

- ① 暑さやのどの渇きを感じにくい。
- ② 汗をかきにくい。
- ③ 室温を小まめにチェックする。
- ④ のどが渇かなくても水分補給をする。
- ⑤ 本人だけでなく、家族や近所の人も含めて熱中症対策に取り組む。

予防のポイント

- ① お子さんの顔色や汗のかき方など、普段から気に掛けてください。
- ② 遊びの最中は、必要に応じて水分補給や休憩を取らせてください。